

第3回甲賀市議会 議会報告会
(市民のみなさんとの意見交換会)

報 告 書

平成28年1月
甲賀市議会

報告書目次

1. はじめに	1
2. 議会報告会概要	2
3. 質疑応答、意見など	4
4. アンケート結果	1 1
5. 各会場の写真	1 9

1. はじめに

議会基本条例に基づく第3回議会報告会（市民の皆さまとの意見交換会）を11月12日（木）、13日（金）及び14日（土）の3日間にわたり市内中学校区6会場で開催しました。

議会報告会は、市民の皆さまに日頃の議会の活動状況を知っていただくとともに、ご意見やご提言を直接伺い、議会審議への活用や議会運営の改善を図り、市民に開かれた議会をめざすために実施するものです。参加人数は、雨天等の関係で第2回よりも少なくなりましたが、6会場で合計120人の方にご参加いただきました。

議会報告会の班編成については、議長を除き3班を編成し、これまで通り各班2会場を担当しました。各班は、第1回・第2回議会報告会のときと同じメンバーで構成しています。この度の議会報告会では、9月議会で審議した平成26年度決算と新規条例4件について、特別委員会・常任委員会での審査内容の説明や経過報告を行った後、先ず報告内容について質疑を受けました。その後、意見交換として議会運営や市政全般など様々なご意見・ご提言をいただきました。

この度の議会報告会で各班が各中学校区単位の会場を一巡したことになります。このため、次回以降の議会報告会をどのような体制で開催するかについて、新たに編成される班長会議や議会運営委員会などで検討していくことになります。

参加者の皆様から頂いた今回のアンケート結果でも、開始時間や所要時間についておおむね好評価を頂きましたが、これまでと同様にどの会場も参加者が多いとはいえ、特に若い方や女性の方にもご参加いただける工夫が必要と感じました。

各会場でいただいたご意見・ご質問、アンケート等につきましては、取りまとめて議会ホームページで報告いたしますと共に、必要な事項については次回以降の議会報告会に反映できるよう取り組んでまいります。

2. 議会報告会概要

(1) 主催：甲賀市議会

(2) 開催日時、会場、担当班、班員（議長は除く）、参加人数

日 時	会 場	班	班 員	参加 人数
平成 27 年 11 月 12 日 (木) 19:00～21:00	かふか生涯学習館（研修 室）	2	◎山中、○小河、竹若、 小西、森嶋、森田、田中実、 加藤、土山	27
	甲南庁舎（大会議室）	3	◎戎脇、○田中新、林田、安 井、鵜飼、中西、橋本律、 的場	28
平成 27 年 11 月 13 日 (金) 19:00～21:00	水口中央公民館（鹿深ホ ール）	2	◎山中、○小河、竹若、 小西、森嶋、森田、田中実、 加藤、土山	17
	土山開発センター（大集 会室）	1	◎田中將、○竹村、谷永、片 山、橋本恒、山岡、白坂、服 部	12
平成 27 年 11 月 14 日 (土) 19:00～21:00	あいこうか市民ホール （展示室）	3	◎戎脇、○田中新、林田、安 井、鵜飼、中西、橋本律、 的場	9
	信楽開発センター（大集 会室）	1	◎田中將、○竹村、谷永、片 山、橋本恒、山岡、白坂、服 部	27

（終了時刻は会場により異なります）

（◎班長、○副班長）

（３）報告内容等

①決算特別委員会報告

決算特別委員会で審査した平成２６年度甲賀市一般会計決算を中心に概要を報告

②甲賀市包括外部監査条例

条例の概要及び総務常任委員会での審査結果の概要を報告

③甲賀市個人番号カードの利用に関する条例

条例の概要及び民生常任委員会での審査結果の概要を報告

④甲賀市屋外広告物条例

条例の概要及び産業建設常任委員会での審査結果の概要を報告

⑤甲賀市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

条例の概要を報告

（４）議会報告会班長会議メンバー

◎加藤和孝、○山中善治、田中將之、竹村貞男、小河文人、戎脇 浩、
田中新人（◎代表、○副代表）

*班長会議は、議会報告会の内容や運営等を協議するために設置するもので、各班の班長・副班長と副議長とで構成されます。

3. 質疑応答、意見など

Q 1 小中学校の統廃合について大変危機感を覚えている。この方向でよいと考えているのか、議員の考えを聞きたい。

A 議会として、再編の結論がすでに決定しているとは認識していません。10年かけて皆さんと議論が必要と考えます。

Q 2 甲賀市幼保・小中再編計画に関し、決して大規模校ばかりが有用であるとは言いきれない。大規模校であるが故に、先生が目が行き届きにくいとの話もある。また、運動会でも出場機会が減るなど憂慮することもあるが。

A 教育委員会が提案しているのは1つの目安であり、決定事項ではありません。今後、時間をかけて、保護者のご意見、議員の考え方、地域の意思などをすり合せながら、いい方向にまとめ上げていければと考えています。

Q 3 自転車に乗っていると、道路の管理不備が気になる。議員としてどのように考えているか。

A 道路維持予算として、自転車道整備に対し大きな予算が充てられているとは思っていませんが、子どもの通学などのこともあり、それぞれの議員への貴重なご意見として伺わせて頂きます。

Q 4 名神名阪連絡道路は、この地区にとっても全国的にみても必要と考えている。決算報告の金額の内容も含め、県に対しての働きかけを伺う。

A 平成26年度決算の94万8,240円は、市民及び企業に対してアンケート調査を行った費用です。それに基づき、県や国に働きかけていると行政から説明を受けています。本年度も整備検討予算が計上されています。

Q 5 地域の安全・安心、産業振興や経済発展などに必要な名神名阪連絡道路の実現に向けて要望活動などに取り組んでいる。市の本年度予算で、整備効果の調査検討が計画されているが、予算額はどの程度か。また、事業内容についても伺う。

A 平成27年度の予算は、整備効果検討業務委託費として311万400円が計上されています。目的は整備効果の検証や道路の必要性和重要性を訴える資料作成で、内容は社会経済などの把握整理、道路交通状況の把握、道路交通の課題整理、整備効果などの検討です。

Q 6 名神名阪連絡道路は非常に有用な道路と考えているが、遅々として進まない。その状況を議会としてどう考えているか。また、議会として如何なる活動をされているか。

A 議員連盟を組織し、民間の方々と共に近畿地方整備局をはじめ、県知事への要望を行っています。ただ、県全体としては、まだまだ必要度の順位が低いと知事は認識されているようです。平成28年度道路網調査費は、名神名阪連絡道路も含め予算化すると聞いています。

Q 7 法人市民税の増収や財政健全化などの説明を受けたが、甲賀市の道路のインフラ整備はまだまだ不十分だと思っている。甲賀市をどのようなまちにするのかという計画性をもって投資をしていくことが必要ではないか。

A 甲賀市ではマスタープランを基にまちづくりが進められています。甲賀市をどのようなまちにするのかということは計画されていますので、それに従って予算が立てられていると理解しています。財源がないから何もしていないとは認識していませんし、予算を無駄に使っていないかを監視するのも議員の仕事ですので、これからもしっかりと対応していきます。

Q 8 箱モノについて、甲賀市はどの程度有効活用されているか。

A 立派な施設がいろいろあり、いずれも有効活用されていると認識していますが、活用について具体的なご提案があれば対応させていただきます。

Q 9 決算における未収額も議会報告会で報告して欲しい。正直者がバカを見ないように、未収金の徹底徴収に努力して欲しい。

A 次長級以上の幹部がチームを組んで未収金回収に努力してくれており、一定の成果をあげています。悪質な滞納には訴訟も含めて対応されています。

Q 10 不納欠損とはどういうことか、意味や内容を伺う。

A 長期にわたる滞納のうち、当事者の死亡や居所不明とか、外国人の本国への帰国など、法に規定された一定の要件を備えたものを不納欠損として処理するということです。

Q 11 自治振興会の会計処理について、市の監査はどう対応しているか。自治振興会の独立性に任せているのか。

A 自治振興会への交付金については毎年度、その自治振興会の監事の監査を受けて実績報告書が市に提出され、市ではその報告書に基づき会計処理が適切に行われているか否かを確認しています。また、市の監査委員により、財政援助団体に対する監査が毎年、実施されており、定期的ではありませんが自治振興会についてもその対象となっています。

Q 12 選挙費用の公費負担については立候補の機会均等などの観点からも大いに賛成するが、人口が減少に向かうなか議員定数は削減すべきではないか。

Q 13 これまで、議会のなかで議員定数の議論はされてきたのか。

A 議員定数については、過去2回の議会報告会でも、同様のご意見を賜っています。27人を維持するか削減するかなどについては、各会派で検討しているところです。早急に結論を出すべきとの考えを議会として共有しています。

***その後、12月定例議会での議員提案による条例改正により、議員定数は次の一般選挙から3人減の24人となりました。**

Q 14 草津線複線化とびわこ京阪奈線の整備について、どのように取り組まれているか教えて欲しい。

A 双方とも大切な事業であり、行政は勿論のこと議会としても鋭意要望活動を続けています。

Q 1 5 行政のPDCAにもとづく事業のフォローアップが必要と考える。議会として、フォローアップ委員会などを設置して検討、議論をしていくべきではないか。

A 事業の検証や検討は非常に大切なものであり、貴重なご意見として今後に活かしていければと考えます。

Q 1 6 人口減少への対策を考えているか。

A 行政は勿論のこと、議会としても、若い人が子育てしやすいように保育園の待機児童ゼロや小中学生の医療費の無料化、さらには働く場を創造するための工業団地造成など、総合的に考えています。

Q 1 7 決算報告にあった貴生川西内貴土地区画整理支援事業について教えて欲しい。

A 事業の内訳は、埋蔵文化財調査業務委託について4,446万5,760円、測量設計業務委託について708万8,550円との説明を決算特別委員会で受けています。

Q 1 8 甲賀病院の跡地はどのように利用されるのか。

A 跡地利用については、今のところ決まっていません。

Q 1 9 この議会報告会が市民の皆さんにもっと興味をもって頂けるものとするため、どのような努力をしているか。

A 地域の皆さんにはチラシの新聞折り込みなどで案内していますが、もっと議会について理解していただき、気楽に参加していただけるものにすべきと考えています。これまで中学校区単位で夜の時間帯に開催していますが、より多くの皆さんに参加していただけるよう、今後どのような体制で進めていくか検討する予定になっています。

Q 2 0 議会基本条例の評価と、議会人事における会派の考えについて伺う。

A 議会基本条例については、それぞれの条項についての検証が必要です。例えば、議員の政治倫理について、条例化すべきかどうかの検討を議会改革推進特別委員会で行っています。議会人事については、当然のことながら政治の世界ですから数の論理が働きますが、課題はあると認識しています。

Q 2 1 議長などの選挙は、立候補された本人が市民の皆さんにも見えるような手法を取るべきではないか。時代は変わっているので、テレビなどの活用を提案する。

A ご意見として承りました。議員活動でネットを使っている議員もいますので、時代に合わせて考えていく必要があると考えます。

Q 2 2 長期的視野にたったの甲賀市の道路計画について伺うが、まずは全般に道路が狭い。また、J R の駅を中心としたアクセス道路網をしっかりと欲しい。

A J R 甲南駅は現在、駅前線を新設工事中であり、貴生川駅については南口も整備されました。甲賀市は482平方k mもの広い面積を有していますが、鋭意道路網の整備を市に求めています。

Q 2 3 甲賀町の「鹿深の湯」の跡地利用について伺う。

A 「鹿深の湯」については、プロポーザル方式で民間委託を目指しましたが叶いませんでした。(仮称)子育て世代包括支援センターとして利用するための予算が27年度に計上されています。

Q 2 4 セーフコミュニティに子どもの非行や犯罪防止対策が取り入れられていないのは何故か。

A 自殺の予防、交通安全、高齢者の安全など現在の状況から課題を洗い出し、「子どもの安全対策委員会」など5つの対策委員会が設けられて検討が加えられてきました。子どもの非行や犯罪防止対策については、対策委員会の重点テーマには位置付けされていません。現時点では、いじめの予防についての仕組みづくりと取り組みが始まったばかりであり、今後、活動が拡大されていくなかで、市民主体のもとに既存の取り組みを発展させながら、新しい課題として位置づけられ、対策が講じられていくものと考えています。

Q 2 5 住宅リフォーム助成制度について市民に十分に周知されておらず、結果として利用できなかった人もいると聞くが。

A チラシや回覧、業者などを通じて周知が図られてきたと理解しています。「あいコムこうか」でも放送はしていましたが、今後はさらに周知徹底できるように議会としても行政に伝えてまいります。

Q 2 6 屋外広告物条例で議員後援会の看板は適用除外とのことだが、その理由を教えてください。

A 公職選挙法で定められており、適用除外となっています。

Q 2 7 工事が進められている新庁舎建設には多額の予算が必要と思うが、財政難のおり財源はどうなっているのか。

A 合併した自治体に認められている合併特例債により借入れをし、建設を進めています。合併特例債の利用により市の負担は大幅に少なくて済みます。

Q 2 8 各地域市民センターで行われている窓口サービスなどの機能は将来なくなるということはないか。

A 現時点では、将来とも維持されていくものと認識しています。

Q 2 9 市税などの滞納処理や差し押さえはどのようになされているか。

A 悪質な滞納者には法的手続きをへて差し押さえも行われますが、居所不明など一定の要件を備えている場合には、法に基づき不納欠損処理が行われます。

Q 3 0 甲賀の國づくりプロジェクトとは何か。そのプロジェクトは何年計画か。

A 人口減少対策など地域活性化のための地方創生総合戦略を策定するもので、人口目標の実現に向けて、今後5年間で取り組むべき施策について検討されています。

Q 3 1 合併して11年になるが、信楽町の人口は減少し高齢化も進み、地域で生活するには買い物など不便になってきている。これらの対策を議会も長期的なスパンで考えてもらいたい。買い物支援のシステムが必要と思うが如何か。

A 高齢化の伸展にともなって買い物難民が増える時代となっていることから、買い物サービスや見守りサービスなどの必要性は認識しています。「あいコムこうか」でもしっかり取り組んでもらうよう、議会としても積極的に声を上げていきたいと考えます。買い物難民対策については、議員が個々に取り組んでいるのが現状であり、議会として如何なる取り組みができるかということも含め議論していきたいと考えます。

Q 3 2 人口減少や若者の流出により地域の学校がなくなるかも知れない。学校がなくなれば、さらに若者がいなくなり過疎化に拍車がかかるのではないか。

A 子どもの教育環境や若い世代の定住化のことも考えて学校再編を考えることも大事であることから、議会としても議論していくことが必要と考えます。

4. アンケート結果

参加者の皆さまから頂いたアンケート結果では、議会報告会開催の総合評価として、「よかった」が45%（前回57%、前々回58%）で、第1回目、第2回目に比べ厳しい評価をいただきました。「ふつう」は54%（前回38%、前々回39%）、「よくなかった」は1%（前回5%、前々回3%）という評価となりました。この結果から、回を重ねるごとに報告の仕方などに工夫を加え、より分かりやすい内容に改善していく必要があるものと考えます。

6会場の合計人数で120人（前回147人、前々回120人）の方にご参加いただきましたが、そのうち初めての参加の方が37%、2回目の参加の方が31%、3回目の参加の方が32%となりました。この結果から、合計人数が前回よりも減っていることを含めて考えると、一度参加された方には次も必ず参加して頂けるような魅力ある内容にしていく必要があることに加え、議員一人ひとりが周囲の方にもっと声掛けするなどの取り組みも必要ではないかと考えます。

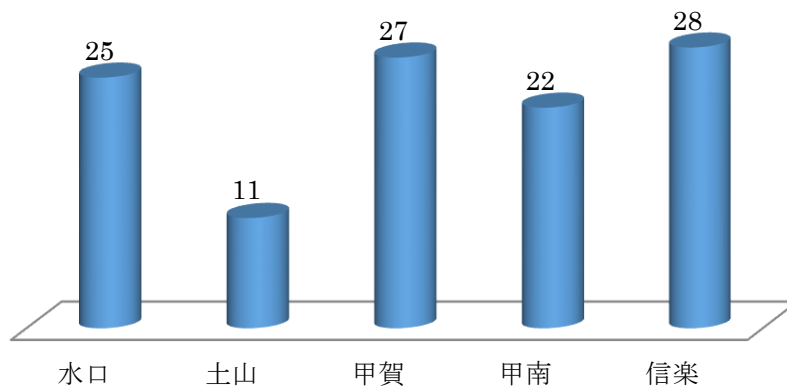
また、配布資料とスライドを用いて行った報告内容については、「分かりやすかった」が65%（前回65%、前々回61%）、「どちらともいえない」が29%（前回33%、前々回35%）、「分かりにくかった」が6%（前回2%、前々回4%）となりました。これまでもご指摘を頂いているように、さらに丁寧で平易な表現での報告を心がける必要があります。

開始時間については、「よい」が82%（前回81%、前々回85%）と多くを占めましたが、「早い」が15%（前回16%、前々回10%）となり、開催曜日については、「平日がよい」が56%（前回51%、前々回45%）、「いつでもよい」が28%（前回32%、前々回32%）、「土日がよい」は16%（前回17%、前々回23%）で、お仕事をされている方とそうでない方とで意見が分かれているかも知れません。所要時間については、ほとんどの方がよいとされています。

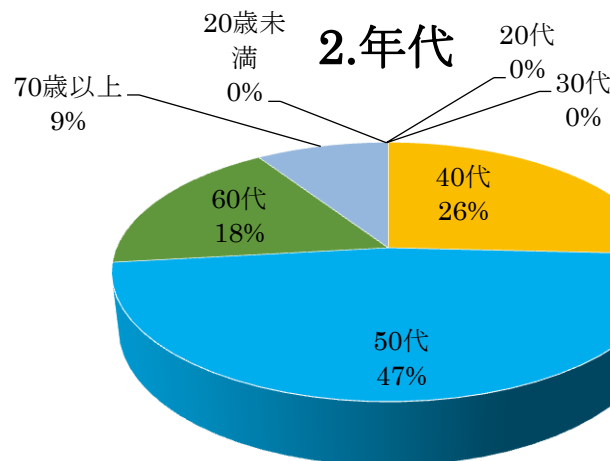
年代別では若い方の参加が少ないこと、性別では女性の方の参加が少ないことが課題であり、時間帯やテーマを工夫するなどして、若い方や女性の方の参加を増やす努力をしていかなければならないと考えております。

以下に、アンケートの集計結果をグラフにまとめ、自由記載欄にご記入いただいたご意見などを原文のまま掲載しました。なお、誤字、脱字などは訂正しています。

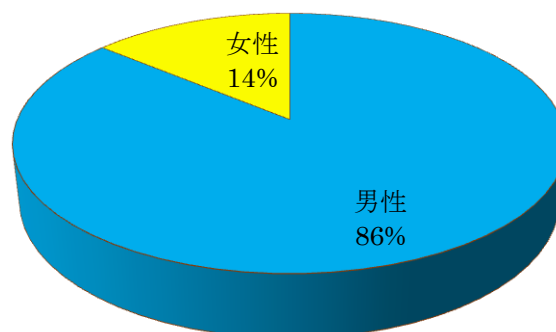
1.お住まい



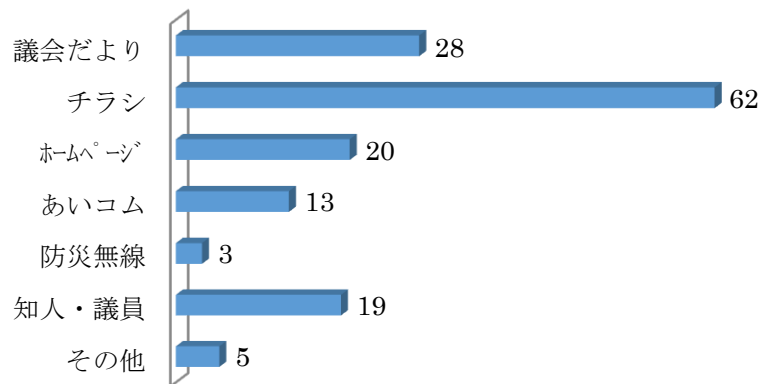
2.年代



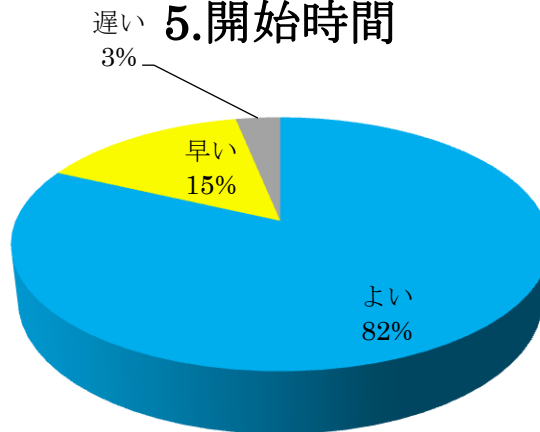
3.性別



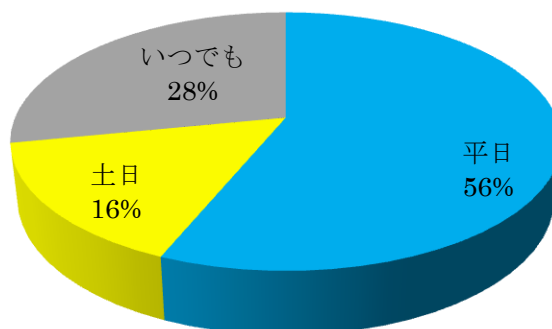
4.何でお知りになりましたか

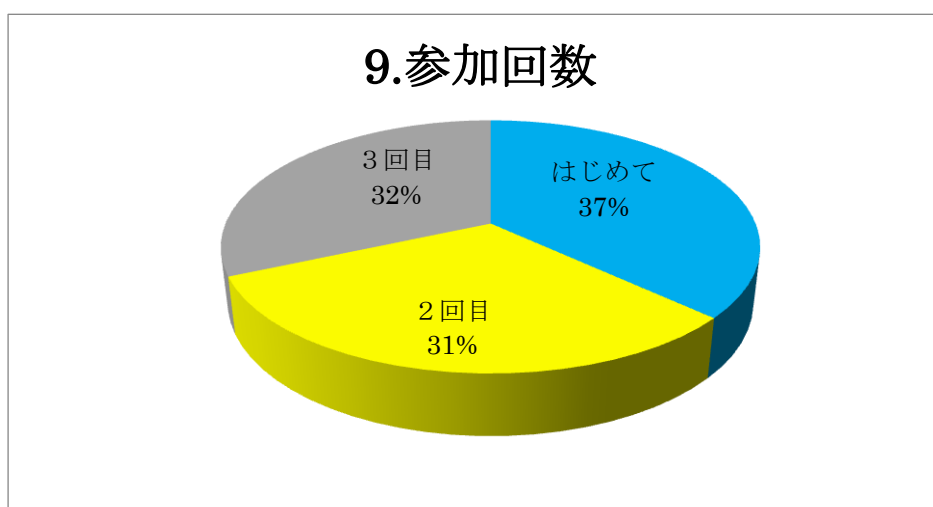
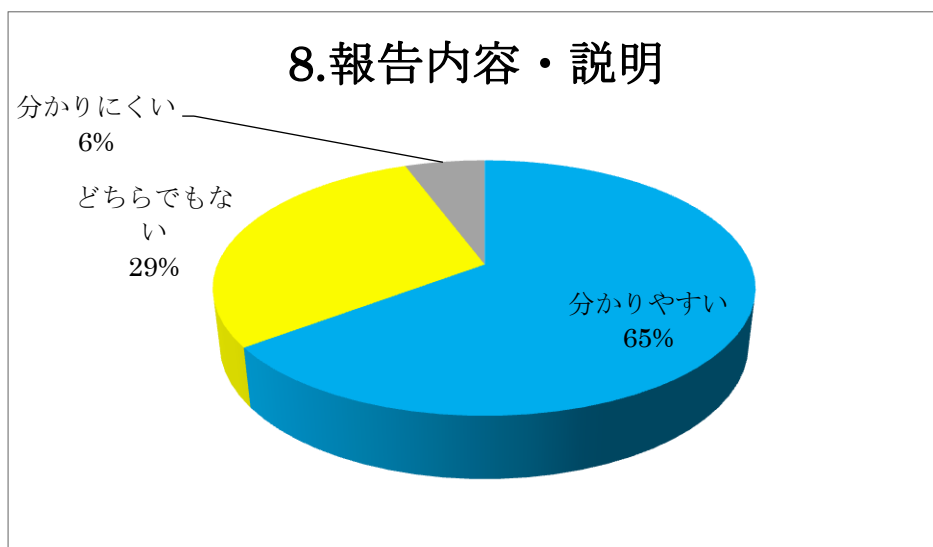
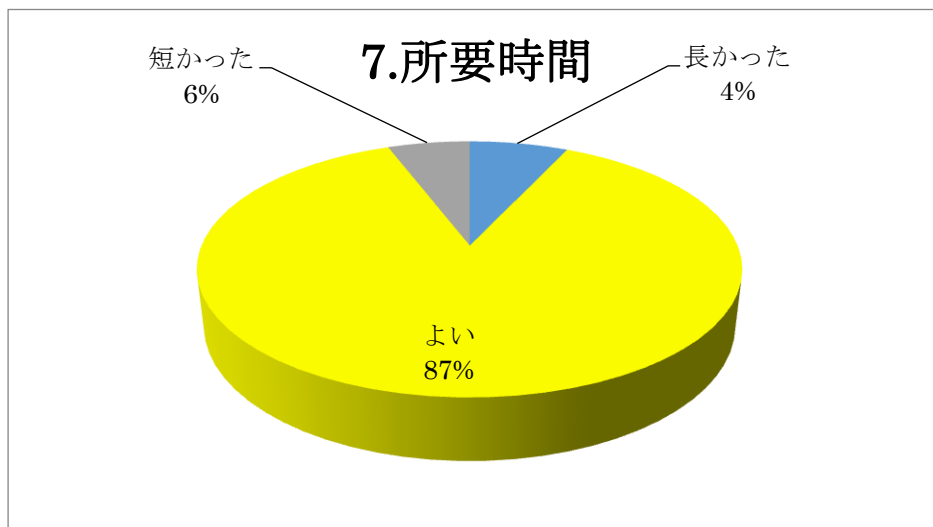


5.開始時間

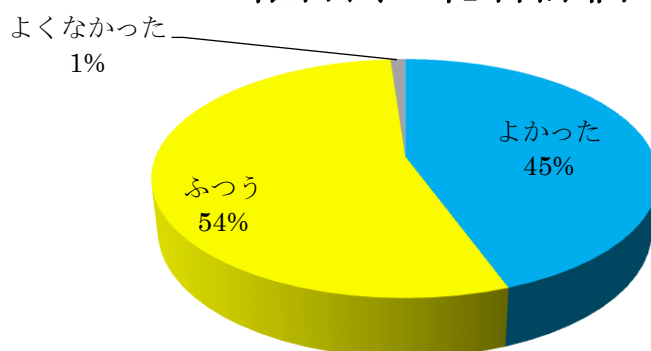


6.開催曜日

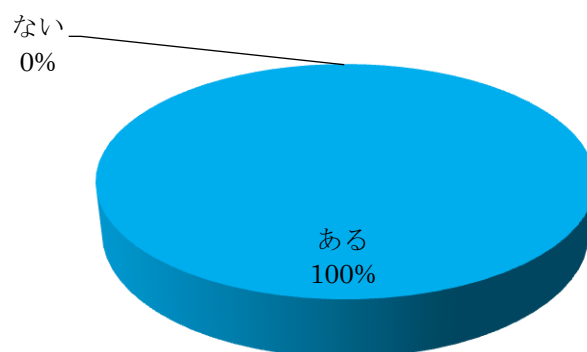




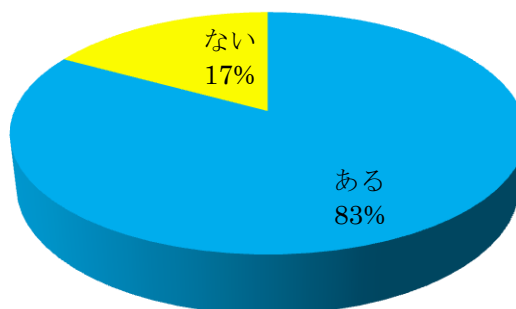
10.報告会の総合評価



12.議会だよりを ご覧いただいたこと



13.インターネット・あいコムで 中継や録画を観たこと



＜ご意見・ご要望・お気づきの点＞

・第２回と第３回に参加しましたが、ある議員のお名前がありません。体調をくずされているのですか。

・説明に行政用語が多く、一般市民には理解できないでしょう。パワーポイントでの説明は、みなさんは議員なのですが、市役所のような説明をされていますね。もっと優しく分かり易い説明が必要だと思います。噛み砕いて、また、市民に分かり易い例えを交えて説明いただくようお願いします。

・特定の参加者の長い質問・復唱に時間がかかりすぎて、間延びしていませんか。一問一答の質疑としたほうが、みなさんの発言が出やすいのではないのでしょうか。

・地域市民の考え（生の声）が大いに聴けて有意義であった。今回で３回目であるが、今後も意欲的な開催を希望します。結果報告が主ばかりでなく、議会の考え方等の地域への問いかけや市民に対して発信を。

・初めての参加でしたが、いろいろなことを聞くことができ、勉強になりました。職務に生かせるよう、がんばりたいです。

・的をしぼった説明で、回を追うごとにわかりやすくなりました。質問時間が長くなった。回を重ねるごとに関心のある方が（新しい顔の参加者）が増えてきていると思います。毎年大変ですが、大いに機会を増やしていただきたいと思います。

・もっと市民の参加を。実態は、行政関係者が半分の割合では。

・せっかく良い報告会でしたので、自治区や自治振興会、女性のグループ、テーマ型のグループの役員の方に口コミで参加を依頼してもよかったかなと思います。議会を身近に感じることができました。条例の説明で少し用語が難しいかなと思いました。質疑も色んな人の思いが聞けて良かったと思いました。

・市民と議会が身近なものとなるため、今後も続けていただきたい。もう少しPRをして出席してもらえるようにしてもらいたい。

・議会の報告の方は事前に資料をHPに掲示及びダウンロード可能なようにして、棒読みの報告時間をなくして、すべて質疑応答の時間に充ててはどうか。

・農地法改正と農協株式会社化とTPPのもたらす農地への影響を分析してほしい。

・説明、単に読んでいるだけで単調⇒原稿に書いていないことを説明する。後の質疑は有意義であった。

・市民の声を聴く会は必要でよかった。

・これからの甲賀市が夢のもてるまちになるように頑張ってもらいたいと思います。

・市民の参加者が少なかったのが残念でした。

・周知方法は市の広報や各種広報媒体は活用されていることは問題・課題はないと思うが、それ以外には何かほかの方法がないのか、私も含め検討が必要とも感じました。

・決算を除いて委員会報告を一点集中がわかりやすくよかったと思います。選挙の

公費負担条例制定おめでとうございます。

・新規条例についてわかりやすく説明され、よく理解できた。このような機会があることは意義深い。継続してほしい。

・参加者の大半が市職員で、一般の参加呼びかけが充分でなかったのでは？

・多くの方が参加できますように。

・一般の参加がもっと多ければよかったのに。

・配布資料の字が小さい。

・せっかくの議会報告会の開催であり、もう少し市民参加があれば良かった。

・参加者が少なかったことは残念、もう少し幅広い市民の参加があれば多様な意見が聴けるし、議論が深まる部分もあると思う。

・市民の参加が少なかった。

・報告事項以外の解答を各委員会で十分議論しておいてほしい。報告事項は短くて良い。

・大変参考になりました。ありがとうございました。

・いろんな意見や議会の考え方が聞けて大変参考になりました。ありがとうございました。

・市職員が3分の2以上来ておられた、約20名、もっと一般の市民に来てもらうように働きかけをしてはどうか。

・十分理解できる報告でした。ただ、意見交換会とするなら、テーマを設定して行う方がより良い会になるのでは。

<市議会全般についての意見>

・生き残る甲賀（他自治体に負けない）へ特化できるように活力有る議会運営を希望します。

・質問される方が限られてきたようにおもいますが、市民の皆さんの意見を聞かれる良い機会だと思いますので、議員の皆様大変ですが、がんばっていただきたいと思います。

・活発に議論し、良き甲賀市をつくっていきましょう 共に！

・地方分権はありえない日本国に主権は一つですよ。

・ありふれた質問が多く思う。もっと市民のための質問がほしい。

・幼保小中学校統合問題、もっと危機感をもってほしい。

・次回も参加させていただきます。

・素晴らしい、甲賀市の実現に向けて市民と一緒にがんばりましょう。

・議員定数のさらなる見直しを検討いただきたい。

・議員定数について、他市と比べて見直す必要があるのではないのでしょうか。

・今秋、湖南市では報告会をいたしませんでした。勉強になりました。ありがとうございました。

- ・平素のご活躍、大変にご苦労様でございます。
- ・今後の人口減少に伴い、さまざまな課題があるなかで、議員数の見直しを検討すべきと考えますがいかがでしょうか。
- ・議会インターネットについて、スマートフォン、タブレットなどでも閲覧できるように変更してほしい。市になってから工業団地、市街地、拡大や新たな開発・整備は今後実施されないのか。
- ・議員定数の見直しについて検討されてはいかがでしょう。
- ・市議会に対して、議員そのものに関心がない人が多い。市議会活動がピンとこない。(なくてもよいのではと)
- ・人口減少に伴い、すべての分野での見直し統廃合が不可欠です。議会においても定数の見直しをすべき時期ではないでしょうか。
- ・市民目線だけでなく、信念を持って活動してくださるようお願いします。

5. 各会場の写真

(1) かふか生涯学習館



(2) 甲南庁舎



(3) 水口中央公民館



(4) 土山開発センター



(5) あいこうか市民ホール



(6) 信楽開発センター

